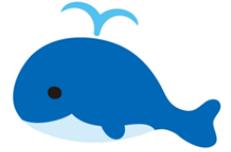




# いるかくじらだより



## おおきくなってるかな～？

先日、中央公園へ散歩に出かけた際、テントウムシの赤ちゃん(幼虫)を見つけた子どもたち。「こんなところにいっぱいいる！」と大興奮!!木の棒や葉っぱなどを使って見やすいところへお引越させ、お友達とかわりばんこで観察。「(この子は)大きいから(もう)テントウムシになるよ!」「これは一番ちっちゃい!まだ(テントウムシにはならなそう)だね～」とたくさんの赤ちゃんたちを見比べて、テントウムシにならなそうな子を予想していました。

次の日、「テントウムシになったかな?見にいこう!」とウキウキな様子で公園へ向かっていた子がいました。(まだじゃないかな～。一日しかたってないもんね～)と思いながらも「大きくなってるといいね～」と保育士が返すと「なってるよ!さがそうね!」とニコニコ。ドキドキしながら公園で昨日と同じ場所に行ってみると...。「赤ちゃんはいっぱいいるのに～」となかなかテントウムシは見つからない様子。近くにいたお友達に声を掛け、仲間を集めたようで、数人でテントウムシ探し!しかし、どんなに探しても見つからない様子...。段々搜索範囲を広げ、赤ちゃんたちがいる場所とは全く違う場所で探し続けていると、ついにテントウムシを発見!!「こっちにいた!」「やっぱり大きくなってたね!」「おこうからとんでっちゃったんだね!」と見つけたテントウムシを見つめ、にんまりした表情でお話していました。突然、テントウムシが飛び立つと「元気だね～。ぶつからないようにね～」と手を振りながら声をかけている姿に、今度は保育士がにんまりしてしまいました。

テントウムシの成長を喜び、嬉しそうに・大切そうに見つめている子どもたちの姿から、戸外で自然物や生き物に触れる経験の大切さを改めて感じました。大人からすればたった1日2日の間に起こった出来事ですが、子どもたちにとってはとても長い時間なのだと思います。(もう大きくなったかな?明日はテントウムシに会えるかな?)とワクワクした気持ちで過ごしているといつの間にか愛着が湧き、大切に思う気持ちが芽生えたのだろうと感じます。今後も子どもたちの様々な力が育まれていくような活動を取り入れ、保護者の皆様にはその活動の中で見られた子どもたちの姿を共有させていただけたらと思います。



## でておいで～!

前回のワクワクタイム[学習]の時間に、ひまわりの種とその日つつじ公園で収穫してきた謎の小さな豆たちを保育園の花壇に植えました。「ひまわりが大きくなるといいね～」「お豆たちはなにになるんだろ～」と今からとっても楽しみな様子の子もたち!!「はやく(芽が)でてくるといいね」「でておいで～!」とたくさん声を掛けながら、種植えをしたり、水をあげたりしてくれました。保育士もなんの豆で、どんなものが育つのか全く分からないので、この先どうなっていくのかとても楽しみです!

## おねがい

花壇には子どもたちの植えた大切な種や豆が埋まっています。

花壇に登ったり、踏んだりしないよう

ご協力お願いいたします。



22日 たるみ ももかちゃん

22日 むらい かいとくん

23日 たかす はなえちゃん

